

令和2年度 中学校「学習指導・評価計画表」 教科【技術・家庭（技術分野）】 学年【2年】

関 生活や技術への関心・意欲・態度  
 創 生活を工夫し創造する能力  
 技 生活の技能  
 知 生活や技術についての知識・理解

月	単題 元材	学習内容	観点	評価規準(B) おおむね満足	判断の基準 AとBの違いなど	評価方法 場面・時期
10 ・ 11 ・ 12	生活に役立つランプを作ろう	製品の仕組みの考察 電気回路の設計 構造の設計 工具や機器の使い方 製作品の製作	関 工 技 知	省エネルギーや使用者の安全などに配慮して設計・製作しようとしている。 新しい発想を生み出し活用しようとしている。 製作品の使用目的や使用条件を明確にし、製作品に適したエネルギーの変換方法や力の伝達の仕組み、構造や電気回路などを決定している。 設計に基づき、安全を踏まえた製作品の組立て・調整や、電気回路の配線及び回路計などを用いた点検ができる。 組立てや調整に必要な工具や機器の適切な使用方法についての知識を身に付けている。	省エネルギーや安全に配慮してアイディアを実現しようとしている。 経済的・環境的な視点などを設計要素として見いだし効率を考えた設計が出来る。 設計や安全対策に基づきより良い電気回路の配線や設定が出来る。 安全な組み立てや調整に必要な知識や使用するエネルギーの専門知識を説明できる。	授業の様子 学習プリント 作品 定期テスト
1 ・ 2	栽培計画に基づいた栽培	植物の成長と環境要因 育成条件と管理方法 栽培計画の立案 計画に基づいた栽培	関 工 技 知	環境に対する負荷の軽減や安全に配慮して栽培方法を検討しようとしている。 新しい発想を生み出し活用しようとしている。 成長の変化をとらえ、育成する生物に応じて適切に対応を工夫している。 栽培計画に基づき、適切な資材や道具を用いて、合理的な管理作業ができる。 生物の育成に適する条件と、育成環境を管理する方法についての知識を身に付けている。	既存の技術を理解し、新しい発想の観点からそれらを実践しようとしている。 毎日の観察や変化より、育成している生物に応じた最適の対応を説明できる。 どういったことが合理的であるか説明できる。 環境要因など基礎的な知識を身につけ、生物育成に関して合理的かつ、安全に作業を実践することが出来る。	授業の様子 学習プリント 作品 定期テスト
2 ・ 3	情報とは	コンピュータの仕組み 情報のデジタル化 情報通信ネットワークの仕組み 情報モラル	関 創 技 知	情報社会において適正に活動しようとしている。 情報に関する技術の利用場面に応じて、適正に活動している。 コンピュータを構成する主要な装置と、基本的な情報処理の仕組み、情報をコンピュータで利用するために必要なデジタル化の方法についての知識を身に付けている。 著作権や、情報の発信に伴って発生する可能性のある問題と、発信者としての責任についての知識を身に付けている。	情報社会においてどのように活動しているのかを説明することができる。 情報に関する技術をどのように適切に活用しているのか、具体的に示すことができる。 コンピュータ機器の基本構成が説明でき、利用に必要なデジタル化の方法や利点を説明でき、実践することが出来る。また、情報モラルについて説明できる。	授業の様子 学習プリント 小テスト